

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

URL www.t-s-r.co.jp

東京都千代田区岩本町 3-7-4 TSR ビル

代表取締役社長 藤田正雄

TSR - Press Release

車載スマートウィンドウ市場の搭載予測を発表

- 先進ウインドシールド(スマートウィンドウ)へ求められる車室内の快適性向上に追加される新機能 -

株式会社テクノ・システム・リサーチは、『Potential Study of Advanced Windshield Market 2013-2014』を発刊し、車載ウインドシールド(フロントガラス)市場に関する調査結果を発表しました。同調査におきまして、現在の車載ウインドシールドに搭載されている機能のトレンドに加えて、将来の先進ウインドシールド(Smart Window)に搭載される機能の市場可能性を算出しております。現行機能としましては、UV Cutを始め、Thermal [遮熱機能 (Solar Control, Absorbing, Reflective)]やComfort [遮音機能(Acoustic)], Infotainment [(Head Up Display)], Others [(発熱機能(Heating))]等が挙げられ、更に将来の搭載機能として、薄ガラスやGlazing Display等が挙げられております。

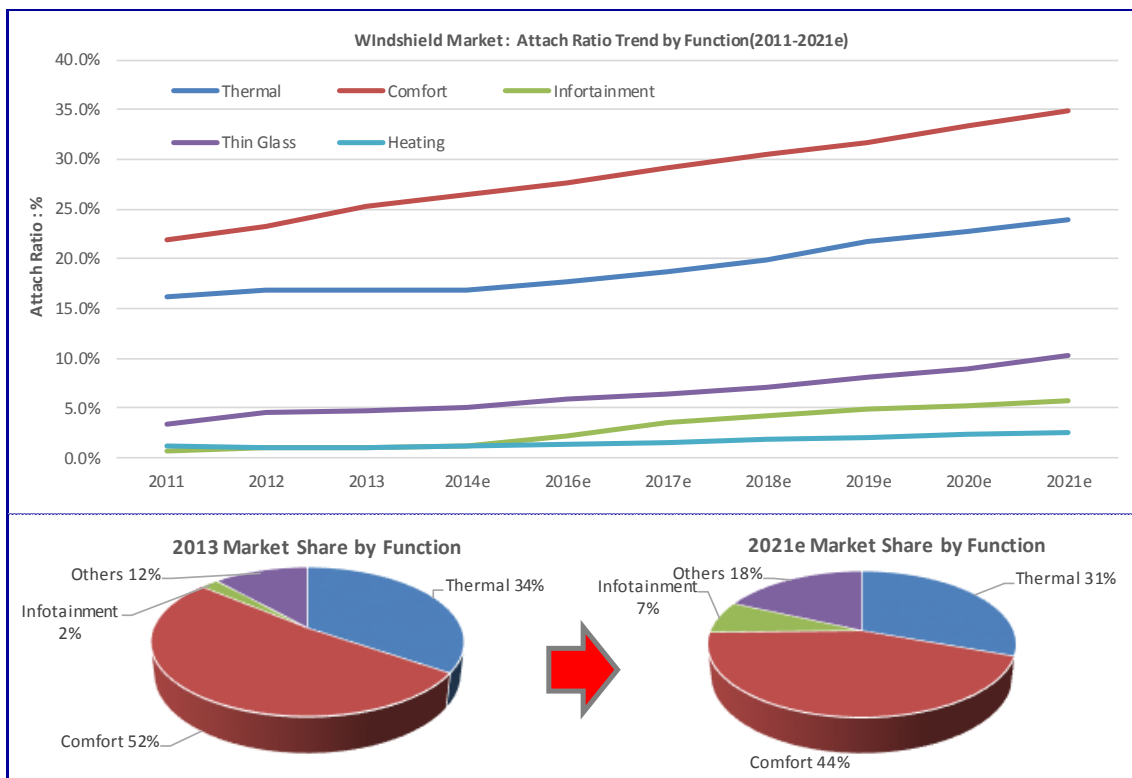
[先進ウインドシールド(スマートウィンドウ)における機能分類の一覧]

Category of Advanced Windshield Function						
Category	Function	Definition				Remark
		Glass Material	Interlayer	Film	Coating	
Thermal	Solar Control	○	-	-	-	Tinted, Green, Gradation Glass
	Absorbing	-	○	-	-	
	Reflective	-	-	○	○	
	Intercept	-	-	○	○	
Comfort	UV Cut	-	○	○	-	Standard Function for Windshield
	Acoustic	-	○	-	-	
Infotainment	Head Up Display	-	○	○	-	
	Glazing Display	○	-	○	-	Transparent Displays
Other Functions	Water Repellent	○	-	-	○	DOP Market
	Heating	-	-	-	○	Wired, Metal Coating
	Weight Saving (Thin Glass)	○	-	-	-	Under 4 mm
	Light Tuning	-	○	○	-	

【自動車用ウインドシールドにこれから求められる機能】

現在のウインドシールドは、車室内の快適性向上を目的として、UV Cut 機能や遮音機能への市場ニーズが高くなっております。そのため、UV Cut はウインドシールドの標準搭載機能となっており、遮音機能につきましては、全自動車の約 4 台の 1 台に搭載されている機能となっております。これらの機能に対する搭載需要は、引き続き拡大傾向で推移する見込みとなっております。しかし、これからのウインドシールドに求められる機能としましては、Thermal 機能と Infotainment 機能である可能性が高くなっております。2013 年時点での Thermal 機能における付帯率は、約 17%となり、機能別 Share は、34.5%となっております。一方、Infotainment 機能につきましては、Head Up Display の付帯率が 2013 年時点で約 1%、機能別 Share は 2.2%となっております。将来的には、これらの機能搭載ニーズが高まり、付帯率として Thermal が 25.4%、Head Up Display を含む Infotainment が 5.9%まで拡大する見込みとなっております。背景としましては、燃費基準に対する規制強化や ADAS 関連製品の搭載拡大による Driver への情報伝達ニーズの高まりが挙げられております。

【先進ウインドシールド (スマートウィンドウ) 市場：搭載機能別の付帯率推移と搭載機能別シェア】



※ 詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

【リリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社 テクノ・システム・リサーチ
第1グループ 木村 準一 (kimura@t-s-r.co.jp)
Tel: 03-3851-5651